

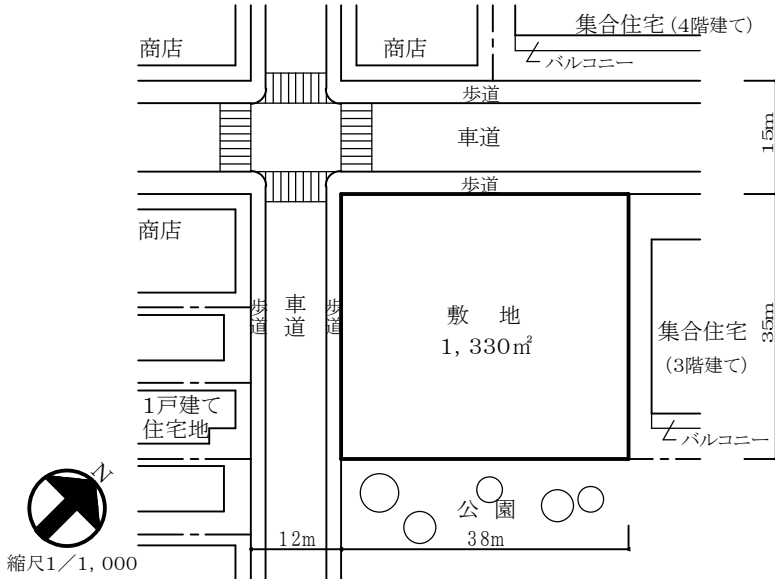
設計課題 賃貸集合住宅

I. 設計条件

この課題は、ある都市近郊の市街地において、1階にコンビニエンスストアを併設した家族向け賃貸集合住宅を計画するものである。住戸については、居住性、コスト等に配慮し、収益性の高いものを目指すものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
(2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
(3) 敷地は、第1種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は60%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は200%である。
(4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。なお、給水引き込み管は40φとする。
(5) 地盤は良好である。



2. 建築物

- (1) 階数等
地下1階、地上3階建ての1棟の建築物とする。
(2) 床面積の合計
地下1階を除く床面積の合計は、1,500㎡以上、1,800㎡以下とする。
(3) 構造、設備
(4) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

Table with columns: 設置階, 室名, 特記事項, 床面積. Rows include 住戸A, B, C, トランクルーム, 集会室, 管理人室, コンビニエンスストア, 設備スペース.

3. その他の施設等

- (1) 地上に設ける駐車場は平面駐車とし、住宅、コンビニエンスストアのサービス用として各1台分、コンビニエンスストアの車いす利用者用として1台分を設ける。
(2) 駐輪場は、住宅用として30台分、コンビニエンスストア用として5台分（1台当たり0.5m×2.0m程度）を設ける。
(3) 地下駐車場へアプローチする自動車用車路（有効幅員5.5m以上、勾配1/6以下、梁下の高さ2.3m以上）を設ける。
(4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
(2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
(3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内（寸法線は枠外でもよい。）に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面（答案用紙Iに記入）

下表により、所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい。）、必要な事項を記入する。

Table with columns: 図面及び縮尺, 特記事項. Rows include 1階平面図兼配置図, 2階平面図, 3階平面図, 矩計図.

2. 面積表等(答案用紙Iに記入)

- (1) 地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。
(2) 建ぺい率（敷地面積に対する建築面積の割合）及びその算定式を記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。
(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。
(3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。
(4) 建築物の環境負荷低減（熱負荷の抑制、省エネルギー等）について、配慮したことを具体的に記述する。

試験場, 受験番号, 氏名